

# 演奏者プロフィール

## 杉本喜代志/guitar

1942年2月3日静岡県富士市生まれ。18歳の時、小坂一也&ワゴンマスターズで活動を開始。吉屋潤グループなどを経て、自己のグループ、スタジオ・ミュージシャンとして活動。70年に日野皓正クインテットに参加。71年同グループでベルリン・ジャズ・フェスに出演。76年自己のグループを結成。80年代にはルー・ドナルドソン (as)、ジョー・ヘンダーソン (ts) らと共演。アルバムはマークス・ミラー (b) らが参加した80年録音『ワン・モア』など多数ある。

スタジオ・ミュージシャンとしてもジャズ・ロック・J-POP・アニメソング・歌謡曲などのレコーディングに参加している。  
※「犬神家の一族」オリジナルサウンドトラック、「人間の証明」オリジナルサウンドトラック、中島みゆき、竹内まりやなどの有名アーティストや作品にも参加。

## 福本純也/piano

川崎市出身。洗足学園音楽大学作曲科卒業。バークリー音楽大学パフォーマンス科卒業。ジャズ、ロック・ブルース、ラテン音楽、クラシック音楽と幅広い音楽に精通したピアニスト作編曲家。和声理論に強く、演奏技術だけでなくその作編曲能力は絶大な信頼を得ている。現在、学校公演、ワークショップ、ファミリーJAZZコンサートなど様々なコンサートを主催・プロデュース。また、リトアニア/韓国/日本人で結成される国際色豊かなワールドJAZZバンド「Boylston Jazz」リーダーとして、2009年よりアジア・東ヨーロッパなど200公演で熱演し国際的にも高い評価を獲得。これまでにBoylston Jazz名義他、CD6枚をプロデュース。

## 荒川“B”琢哉 /percussion

12歳の時に中学のビッグバンド部にて独学でドラムをはじめ、16歳の時に所属していた「Free Hills Jazz Orchestra」でラテンパーカッションに出会う。独学で勉強を続け、高校生としては数少ないパーカッションプレイヤーとなる。その後、名古屋芸術大学に入学。作曲や編曲、PAやレコーディングの知識を学ぶ一方、野々田万照氏に出会いプロミュージシャンを志すようになる。野々田氏の紹介で美座良彦氏に出会い同氏に師事。ラテン音楽にのめり込む。現在は、熱帯Jazz楽団への参加をはじめ、アーティストのサポート【高橋真梨子withヘンリーバンド(2013/11)、平松愛梨(2016/10)、渡辺真知子(2021/05)等...】や、様々なミュージシャンとのセッションライブ、様々なイベントへの参加、ラテンジャズバンド「Wu-Xing」や、サルサバンド「オルケスタレグルス」、「コンフントソプリオ」への参加等、ジャンルを問わず活動中。また、ラテン音楽を少しでも身近なものにしたいという想いで立ち上げた自身のラテンバンド「B-Style」「B-Style Big Band」や、自身が中心メンバーになり立ち上げたサルサバンド「l.y.a」でも精力的に活動している。音楽理論を野々田万照氏に師事。演奏技術をカルロス菅野氏、美座良彦氏、ルベンフィゲロア氏に師事。

## 石川 勇人/drums

東京都出身。小学校3年生でドラムにも出会う。高校3年の夏に音楽の道に進むことを決め猛勉強の末、洗足学園音楽大学へ入学。在学中はオーケストラ、吹奏楽、ビッグバンド、ミュージカル、現代音楽、マーチング、民族音楽など様々なジャンルを学ぶ。卒業と同時に打楽器エンターテイメントグループ「FUNCUSSION」、日本初の打楽器アンサンブルグループ「岡田知之パーカッションアンサンブル」に加入。現在ラテン、ジャズ、ミュージカルなどを中心ドラム、パーカッションistとして活動中。  
<共演、サポートしたアーティスト>  
由紀さおり、大橋純子、郷ひろみ、Orquesta del sol、Orquesta de la luz、大黒摩季、織田哲郎、葉加瀬太郎など